

総括事項

所属所数

市	12
町	15
村	12
一部事務組合等	33
合計	72

組合員数

組合員数	15,589人
被扶養者	22,399人
扶養率	1.44人

(任意継続組合員含む)



平均給料月額

平均給料月額		平均給料月額 (円)
一般組合員 (特別職)	長期	338,975 (513,093)
	短期	339,598 (542,126)
市町村長組合員	長期	607,184
	短期	754,708
特定消防組合員	長期	321,087
	短期	321,087
継続長期組合員	長期	0
任意継続組合員	短期	298,402

() 書きは特別職を示す。

平成18年度 決算のあらまし

去る7月4日、第131回組合会が開催され平成18年度決算が議決されましたので、その概要をお知らせします。

短期経理

保険医療機関への医療費や各種手当金を給付する経理です

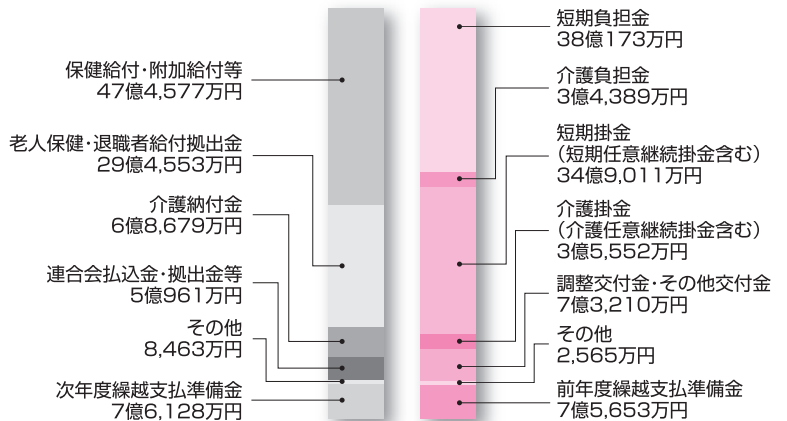
本年度は、組合員の減少により、収益の大部分を占める掛金・負担金が減少となりました。一方、費用につきましては、医療費などにかかる給付金、高齢退職者の医療費として負担する退職者給付拠出金などが大幅な増加となりました。その結果、本年度は2億2808万円(当期短期損失金2億4018万円、当期介護利益金1210万円)の当期損失金が生じることとなりました。

このうち当期短期損失金の処分につきましては、前年度より繰り越した欠損金補てん積立金(1億2775万円)を取り崩して一部補てんを行うこととしたしましたが、なお欠損金が生じるため、翌年度に短期繰越欠損金として1億1243万円を繰り越します。また、当期介護利益金につきましては、前年度より繰り越した介護積立金にそのまま積み増し、翌年度に繰り越します。

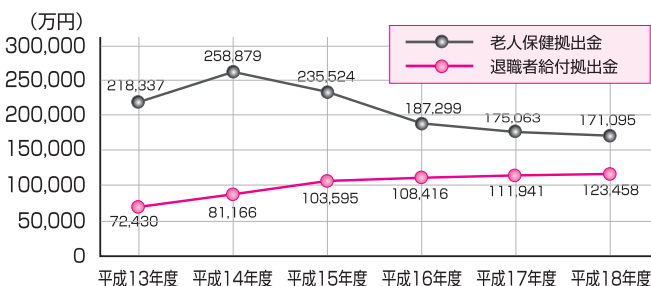
ご覧いただけますように、本年度は非常に厳しい状況となりました。今後もお一層、医療費増高の分析と対策等に取り組み、健全な経理となるよう努めます。

支出合計 97億3,361万円

収入合計 95億553万円



拠出金の推移



平成18年度医療給付実績

	件数(件)		日数(日)		金額(万円)	
		前年度比		前年度比		前年度比
組合員本人	132,949	▲2,632	238,141	▲19,682	181,742	▲555
家族	162,449	▲3,091	292,741	▲18,849	211,951	5,715
合計	295,398	▲5,723	530,882	▲38,531	422,268	7,351

長期経理

退職後の年金を給付する経理です

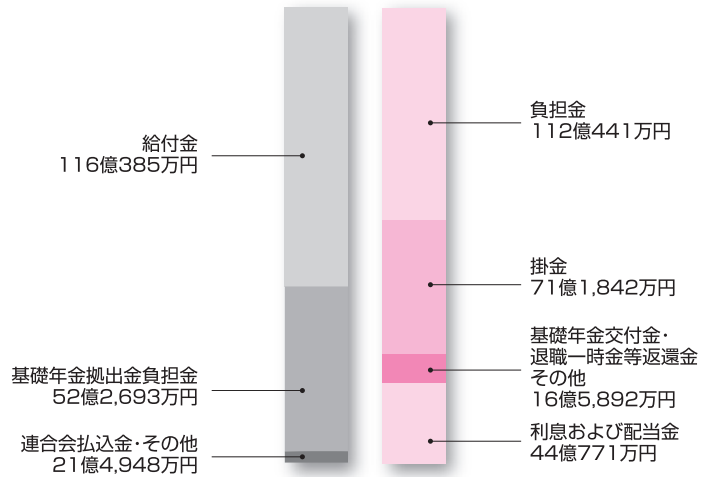
長期経理におきましても、組合員数の減少、二方面年金受給者数の増加という傾向は免れません。本年度の決算では、前年度より年金受給者数が298人増加し、給付総額は116億384万円となり、前年度より2億3583万円増加いたしました。厳しい状況ではありますが、収支の結果、54億920万円の利益金が生じたので、この額をこれまでの積立金に積み増し、将来の年金の原資として積み立てることといたします。

なお、平成19年度からは、全国市町村職員共済組合連合会における年金の一元の処理が開始され、各都道府県の市町村共済組合等の年金資産がこの連合会において一括して管理、運営されることとなり、年金の支給に関しても連合会が行うこととなります。

よって、平成19年度から当組合における長期経理につきましては、組合員の皆さまや所属所から払い込まれた掛金・負担金をいったんお預りし、連合会に払い込む経理となります。

支出合計 189億8,026万円

収入合計 243億8946万円



成熟度 31.10%

成熟度とは1人の組合員が、何人の退職年金受給者を支えているかをあらわすものです。

$$\frac{\text{退職年金受給者数}}{\text{組合員数 (任意継続組合員は除く)}} \times 100 = \text{成熟度 (\%)}$$

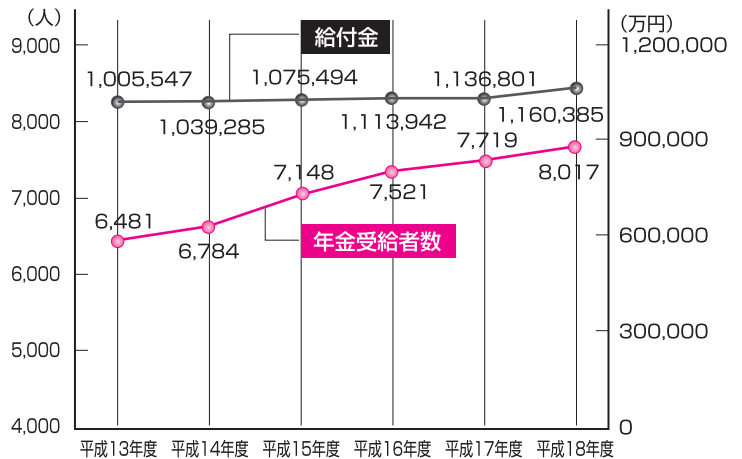
平成18年度

$$\frac{4,754人}{15,266人} \times 100 = 31.10\%$$

※退職受給者数：退職共済年金（通算退職年金相当の年金の受給者を除く）、退職年金、減額退職年金の受給者数。障害年金、遺族年金の受給者数は含まない。

※組合員数：長期適用組合員の合計。

年金受給者数と給付金の推移



業務経理

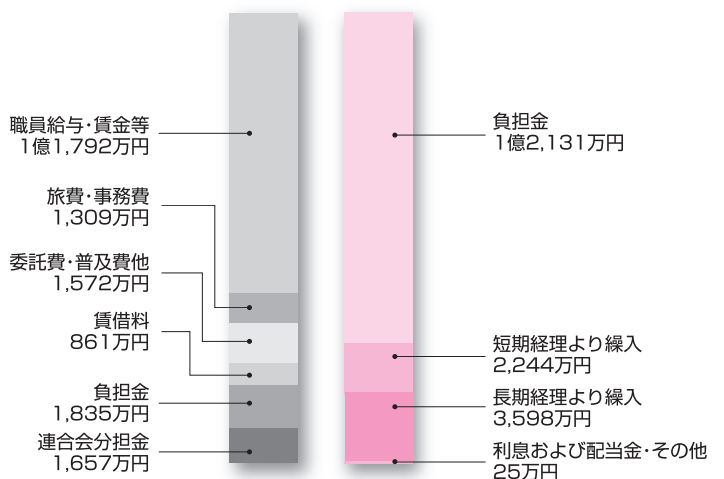
共済組合を運営するための経理です

この経理は、主に当組合における長期給付や短期給付に要する人件費や事務費、そして当組合の一般的な運営経費等を担っています。

財源につきましては、地方公共団体からの負担金、短期および長期経理からの繰入金とされており、本年度の収益合計は、その他の諸収益を含み1億7998万円（前年度より193万円の減）となりました。一方、費用合計は1億9026万円でありましたため、収支差引の結果1028万円の損失金が生じました。この損失金の処分につきましては、前年度より繰り越した積立金を一部取り崩し補ってまいります。

支出合計 1億9,026万円

収入合計 1億7,998万円



保健経理

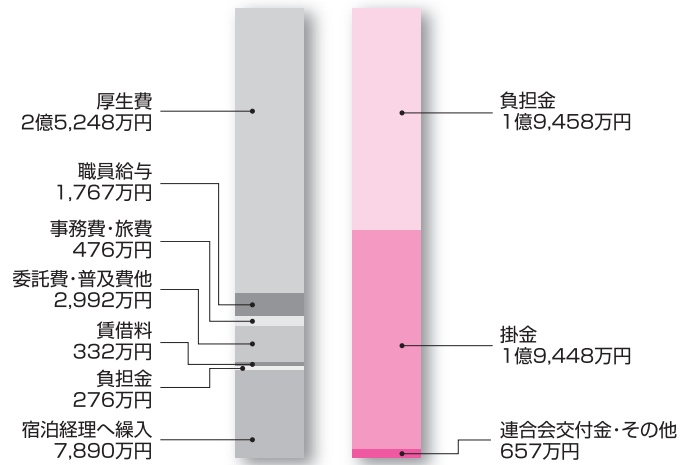
健康診断などの保健事業を実施するための経理です

保健事業（厚生費）の内訳

項目	決算額(万円)	概要
保健関係	成人病検診	3,774 受診者数 5,658人
	大腸検査	254 受診者数 1,242人
	精密検査	1,017 受診者数 1,210人
	歯科検査	951 受診者数 5,591人
	婦人科健診	1,115 受診者数 2,103人
	人間ドック	13,610 受診者数 6,783人
	電話健康相談	156 相談件数 394人
	メンタルヘルス相談	10 相談件数 9人
	医薬品配布	53 新規組合員へ救急箱セット263人
保養関係	保養施設利用助成(直営)	2,236 8,943人
	保養施設利用助成(その他)	562 2,811人
表彰関係	健康家庭表彰	274 1年表彰 380人 3年表彰 43人
	球技大会または体育大会助成	210 15所属所
図書関係	保健関係図書	748 -
講座関係	食生活健康講座	15 参加者 23人
	健康づくり教室	24 参加者 58人
	衛生管理者研修会	8 参加者 21人
	ライフプランセミナー	42 参加者 88人
その他	災害見舞金	9 3人
	旅費	24 -
	諸謝費	3 -
	事務費・電算処理費用等	155 -
計	25,250	-

支出合計 3億8,981万円

収入合計 3億9,563万円



この経理は、組合員やそのご家族の皆さまの健康管理に役立てていただくため、成人病健診、人間ドック、保健講座、助成事業等の事業を実施しています。

本年度の収益につきましては、掛金・負担金、連合会交付金等併せまして3億9,563万円で、事業等に要した費用は、3億8,981万円でありました。よって、収支差引において582万円の当期利益が生じたので、積立金に積み増しし、翌年度に繰り越したいします。

今後におきましても、組合員やそのご家族の方々の健康増進等に役立つよう努めます。

宿泊経理

「共済会館やまと」を運営するための経理です

本年度におきましても、施設経営の健全化計画のもと、宿泊、宴会などの各部門に売上目標を設定し運営いたしました。

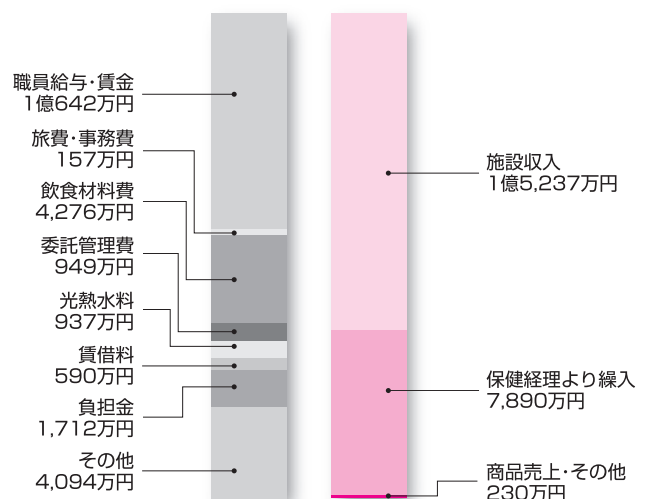
結果、本年度におきましては、収益および費用の額とも2億3,357万円と同額となり、当期損益金は生じませんでした。

しかしながら、施設収入については前年度よりも減少しており、非常に厳しい施設経営となっております。

これまでの各部門の目標設定の達成努力はもちろんです、営業内容に工夫を凝らし、サービスの充実に努め、集客増員を目指します。

支出合計 2億3,357万円

収入合計 2億3,357万円



平成18年度施設利用状況

宿泊	年間利用客数	8,056人
	総売上高	6,651万円
宴会	年間利用件数	865件
	総売上高	6,536万円
会議	年間利用件数	1,167件
	総売上高	1,902万円
ラウンジ	年間利用客数	5,370人
	総売上高	149万円

貯金経理

皆さまからお預かりした貯金を運用する経理です

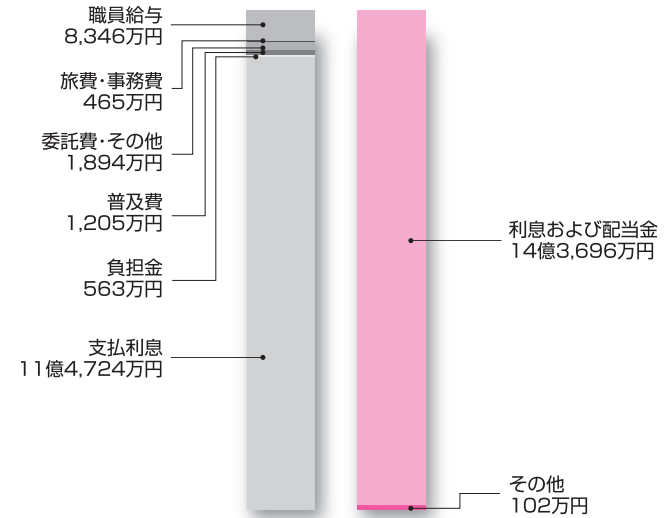
平成18年4月より、貯金の支払利率を1.8%（前年度まで2.0%）とさせていただきます。本年度は、前年度に比べ貯金者数が153人減少しておりますが、加入者1人当たりの貯金額については26万円増加しており、貯金総額で20億1,592万円の増加となりました。

収支の状況につきましては、収益総額14億3,798万円に対し、費用総額12億7,197万円であり、本年度は1億6,601万円の当期利益金が生じました。

この利益金は、欠損金補てん積立金に積み立て、次年度に繰り越したします。

支出合計 12億7,197万円

収入合計 14億3,798万円



✿ 平成18年度貯金の状況

貯金額	646億1,574万円
貯金者数	10,928人
組合員加入率	71.58%
支払利率	年利1.8%

貸付経理

住宅建築等の資金が必要になったときに貸付をする経理です

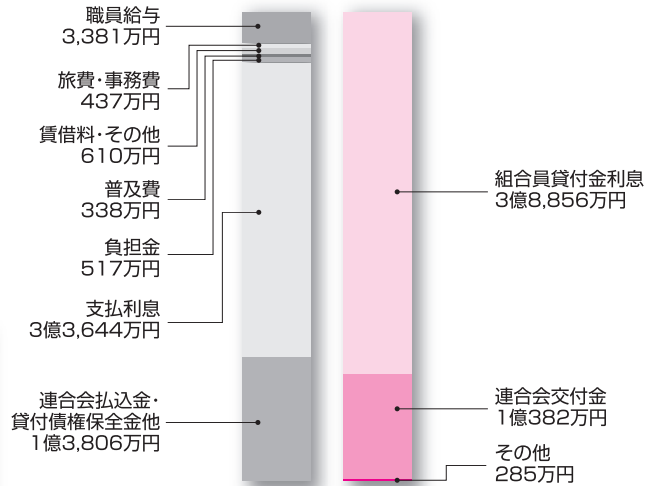
組合員の皆さまにご利用いただいております貸付金の総額は、前年度に比べ16億3,405万円減の163億1,458万円、貸付件数は493件減の6,183件でした。

収支の状況につきましては、貸付金利息などによる収益4億9,523万円に対し、支払利息などによる費用が5億2,733万円でした。

収支の結果、3,210万円の当期損失金が生じました。この損失金は、前年度までの欠損金補てん積立金を一部取り崩し処分いたします。

支出合計 5億2,733万円

収入合計 4億9,523万円



✿ 平成18年度末貸付金の状況

種類	件数(件)	金額(万円)	割合(%)	
普通貸付	2,159	137,649	8.44	
住宅貸付	3,187	1,402,983	85.99	
災害貸付	新規	23	9,208	0.56
	再貸付	3	989	0.06
	小計	26	10,197	0.62
在宅介護対応住宅貸付	78	16,835	1.03	
特別貸付	医療	3	127	0.01
	入学	181	8,535	0.52
	修学	436	45,937	2.81
	結婚	98	8,260	0.51
	葬祭	12	872	0.05
	小計	730	63,731	3.90
高額医療貸付	2	28	0.01	
出産貸付	1	35	0.01	
合計	6,183	1,631,458	100.00	

